

令和元年度 第1回 宇部市地域自立支援協議会 会議録

日 時:令和元年7月18日(木) 18:00~20:00

場 所:宇部市総合福祉会館 2階 ボランティア交流ホール

出席者:委員 16名(欠席者2名)

委員 土屋会長、溝田副会長、安光委員、枝村委員、錦谷委員、花藤委員、長谷川委員、赤川委員、森尾委員、墨田委員、中村委員、末次委員、井上委員、甲斐委員

市 健康福祉部 坂本参事

障害福祉課 藤原課長、石津主幹、井上副課長、中村係長、深津係長、松井主任

地域福祉・指導監査課 吉武課長、梶山福祉総合相談センター長

宇部市社会福祉協議会 生活支援課 新谷課長、島田係長

地域福祉課 石崎係長

(傍聴者):3名

1 宇部市地域自立支援協議会について

- ・宇部市地域自立支援協議会設置要綱
- ・宇部市地域自立支援協議会体制図
(事務局)要綱及び体制図に沿って説明

2 報告

(1) 平成30年度実績報告

・相談支援事業の実績報告

- ・平成30年度 相談支援事業実績報告(資料1-1)
- ・発達障害等相談センター運営事業(資料1-1)
- ・ひきこもりの相談支援充実事業(資料1-1)

(事務局)資料に沿って説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

■質疑応答等

●質の高い支援をしているようになってきたのではないか。ひきこもりなどによる悲しい出来事が世間を騒がせたりしているが、より活発に活動を進めてほしい。

・障害者虐待防止法における相談件数等の報告

- ・平成30年度 障害者虐待防止法における相談件数について(資料1-2)

(事務局)資料に沿って説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

■質疑応答等

意見等なし

・「宇部市障害福祉サービス計画（第5期宇部市障害福祉計画及び第1期宇部市障害児福祉計画）」に係る実績報告

- ・平成30年度 第5期宇部市障害福祉計画及び第1期宇部市障害児福祉計画（サービス計画）に係る実績報告（資料 1-3）

（事務局）資料に沿って説明

（会長）説明についてのご意見、ご質問はありますか。

■質疑応答等

意見等なし

（2）障がい等地域支援ブロック会議等の報告

- ・障がい等地域支援ブロック会議報告（平成31年4月～令和元年6月）（資料2）
- ・令和元年度第1回地域課題の進捗状況（資料2）

（事務局及び相談支援事業者）資料に沿って説明

（会長）説明についてのご意見、ご質問はありますか。

■質疑応答等

（会長）障害者の一般就労についてはどうですか。

●障害のある方の職業紹介に関わる中で、企業の中には障害についての認識が進んでいない会社もある。障害者の雇用率などの関係で、これから必要となる企業へ精神障害者トータルサポーター講座を開催した。宇部には配置が無いが、下関に配置している精神障害者トータルサポーターが障害者雇用を考えている企業30社へどういった配慮が必要かなどを説明した。

●企業への障害者雇用に対する理解促進については、リベルタス興産が中心となって、2ヶ月に1回ほど会議を開いており、障害者雇用をしている企業から話を聞きながら障害者雇用について考えるということをしている。宇部市は理解が進んでいるほうであり、他市の企業も参加している。

●福祉的就労の利用者が就職せずずっと同じ事業所に通い滞留しているという問題がある。仕事ができる方はスムーズに移行しているが、ずっと就労A型、就労B型を利用している人に一般就労をすすめても、能力的に問題があったり、次に進む自信がないということで悩んでいるということだった。一方、能力のある人が一般就労してしまうと就労の福祉事業所の運営が厳しくなってしまうという問題もある。草刈などの業者は、できる人がいなくなると納期などの問題が出てくる。そういったこともあるが、就職したいという人に対してはしっかりサポートしていかないといけない。

●見守り体制の支えあい会議に出席しており、見守りとして有償ボランティアの利用を考えている地域があるが、有償でゴミを捨てるのを手伝ったり、病院に行くのを手伝ったりという話が出ている。ただし、ゴミを持っていくことは廃掃法に、病院の送迎は道路交通法に違反するのではないかなど法律的な問題があり、慎重に話を進める必要がある。また、専門家を入れて考える必要があるのではないかな。

(会長)親亡き後についてはどうですか。支援学校にお子さんが通っている若い両親はどう考えていらっしゃるのか。

●今は自身が若いからよいが、年を取った時どうすればよいのかと、漠然とした不安を感じているようである。

●成年後見人の関係で本人の死後のことは何もできないという話があったが、火葬など是可以できるようになってきており、絶対にできないということから徐々に変わってきているので、情報提供させていただく。

(委員)地域課題についてだが、ぴあ南風が相談支援事業者としての委託契約を終えた関係で人員も減となるなど、地域課題の担当をすることが難しい状況なので、どなたか交代してもらえないか。

(会長)すぐに回答することは難しいと思うが、どうだろうか。いなければ事務局で対応するというところでどうか。

○引き継ぎを了承する委員なし

(会長)いないようですので、事務局で対応するというところでよろしいか。

○異議なし

(会長)それでは事務局で対応をお願いしますか。

(事務局)事務局で対応します。

3 議事

(1) 今年度に重点的に取り組む地域課題について

・令和元年度地域課題の最優先項目(資料3)

(事務局)資料に沿って説明

(会長)障害のある方の親であったり、高齢化であったり、お金関係、成年後見について様々な課題がある。地域課題についてのご意見、ご質問はありますか。

■質疑応答等

●地域での障害者の理解が進んでいないのは事実だ。障害者と接するのが難しい。精神障害の人だと相手にされないこともある。障害特性の幅が広く、地域でどこまで理解できるのか。地域では人権の研修会はしているが、どこまで理解できているのか判断が難しい。個人情報保護の関係から障害者手帳を持っていることを把握しておらず、話をして初めて障害者ということを知ったということもある。地域の祭りでひきこもりの人が参加されて話をしたが、次に会ったのは数年後ということもあった。地域に理解をしてほしいというのはわかるが、実際には難しい。

4 その他

(1) 障害のある子を育てる母親の就労に関わる実態調査について

・障害のある子を育てる母親の就労に関わる実態調査(資料4)

(事務局)資料に沿って説明

(2) その他

・福祉なんでも相談窓口

(事務局)資料に沿って説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

■質疑応答等

意見等なし

(会長)最後に副会長に総括をお願いしたいと思います。

(副会長)基本となるのは、障害特性及び障害の理解がベースとなる。私は、視覚障害があるのでパソコンの画面読み上げソフトを利用して文書を読んだり、情報の発信をしている。点字やデータを読むことによってコミュニケーションを行っている。宇部市は共生社会タウンホストタウンとしていろんな行事を行っている。オリンピックやパラリンピックを契機に、パラリンピアンはごく少数ではあるが、障害者理解が進めばよいと思う。私は障害者に対する無関心を危惧している。皆さんにいろんな活動をすすめてもらい共生社会、心のバリアフリーにつながっていけばと思っている。